

地域銀行の平成 22 年 3 月期決算の概要

1. 損益の状況

- 実質業務純益は、債券等関係損益の改善等により、前期に比べ 58.2%の増益。
- 当期純利益は、実質業務純益の増益に加え、不良債権処理及び株式等の減損処理の減少等により、黒字に回復。

(単位：億円)

	20 年 3 月期	21 年 3 月期	22 年 3 月期	前期比
業務粗利益	49,865	43,599	49,858	6,259
資金利益	45,125	44,812	43,517	1,294
役務取引等利益	6,029	4,821	4,527	294
債券等関係損益	1,616	6,768	1,057	7,826
うち、債券等償却(▲)	1,298	5,197	190	5,007
経費(▲)	31,870	32,165	31,775	390
実質業務純益	17,994	11,432	18,082	6,649
不良債権処理(▲)	7,128	11,834	7,204	4,629
株式等関係損益	970	4,132	339	3,793
うち、株式等償却(▲)	1,220	5,007	759	4,247
当期純利益	6,401	4,138	6,437	10,575

(※)21 年 3 月期当期純利益は、預金保険機構から足利銀行に実施された金銭贈与 2,566 億円を除いて集計。

(参考)

	20 年 3 月期	21 年 3 月期	22 年 3 月期
貸出金(末残)	197.6 兆円	204.9 兆円	204.8 兆円

2. 不良債権の状況

- 不良債権額は前期に比べ減少、不良債権比率も低下。

	20 年 3 月期	21 年 3 月期	22 年 3 月期
不良債権額	7.5 兆円	7.1 兆円	6.6 兆円
不良債権比率	3.7 %	3.4 %	3.2 %

3. 自己資本比率の状況

- 自己資本比率は前期に比べ上昇。

	20 年 3 月期	21 年 3 月期	22 年 3 月期
自己資本比率	10.3 % (10.7 %)	10.5 % (10.6 %)	11.3 %

(※) () 内の計数は、特別危機管理銀行であった足利銀行を除いて集計。

(注1) 20年3月期の集計対象は110行(地方銀行64行、第二地方銀行45行及び埼玉りそな銀行)

21年3月期の集計対象は109行(地方銀行64行、第二地方銀行44行及び埼玉りそな銀行)

22年3月期の集計対象は107行(地方銀行64行、第二地方銀行42行及び埼玉りそな銀行)

(注2) 計数は単体ベース。ただし、不良債権の計数には、再生専門子会社分を含む。

(注3) 不良債権処理及び債券等償却、株式等償却について、正の値は益を、負の値は損を表す。

(注4) 20年3月期及び21年3月期の計数については、業績修正等を行った銀行があるため、過去の当庁公表数値と異なる。